

1 はじめに

大みか小学校には、7つの委員会があり、それぞれ「大みか小をもっとよくしたい。」という目標をもち、委員長をはじめ、各委員会が意欲的に活動している。委員会活動は毎月第1水曜日に設定しているが、その他日常的な常時活動を行っている。

2 本校の特色ある活動について

(1) 縦割り班活動

4月に各学年1～2名程度の計10名で1つの班を編制し、24の縦割り班をつくった。その班を活用して、今年度は11月から毎月1回、皆遊タイム（清掃なしのロング昼休み）に縦割り班で遊び、学年をこえた交流を深めている。低学年は遊び方を学ぶだけでなく、年上の人との接し方なども学ぶことができる。高学年は、自分の生活態度を見直し、下級生の気持ちを考えながらリーダーシップを発揮する活動の場になっている。



(2) あいさつ運動

各学期に、学年ごとに昇降口前で朝のあいさつ運動を行っている。学年全員で「心をこめて地域の方や友達にあいさつをしよう。」というめあてをもって取り組んでいる。また、毎週水曜日と金曜日には、集会委員会が各教室を回って、あいさつや声掛けを行ったり、昇降口であいさつ運動を行ったりしている。あいさつがよくできた人の名前を、給食時に紹介する等、みんなが気持ちよいあいさつができるように活動している。



3 成果と課題

大みか小学校の児童は、普段の生活や様々な行事を通して、自主性やよりよい人間関係を育む心を育ててきた。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、例年実施している行事や活動が中止や制限されたものが多い。大みか小学校の児童一人一人の思いを大切に、よりよい人間関係を育むために、コロナ禍でも行える児童会活動を工夫しながら実施していく必要がある。